

○新たな施策の要望又は提案を求めるもの

区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 再提案 (28・4・21 第138回総会；佐久市ほか)		
種類	<input type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教
	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの		<input type="checkbox"/> 社会環境
	<input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの		<input type="checkbox"/> 経済
	<input type="checkbox"/> その他 ( )		<input checked="" type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	防衛省
	<input type="checkbox"/> 県	担当部局	
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	18 MV-22、CV-22 オスプレイの安全性の確認について		
提案市	飯山市		
提案要旨	<p>MV-22、CV-22 オスプレイの安全性が懸念されている中において、安全性の確認とその結果の説明はもとより、飛行訓練ルートなどの具体的内容について関係自治体及び住民に対し事前に十分説明を行うよう要望する。</p>		
提案理由	<p>米軍が政府に提出した MV-22 の環境審査報告書によると、低空飛行訓練ルートとして当市が含まれるブルールートが示され、また、CV-22 の訓練空域（エリアH）には東北信地域が含まれている。</p> <p>平成 28 年 12 月 13 日に沖縄県名護市で発生した CV-22 オスプレイの不時着水事故を見ても、オスプレイの安全性には疑問があり、訓練の危険性、不安は払拭されていない。</p>		
現況及び課題等	<p>不時着水事故以後、米軍は配備しているすべてのオスプレイの機体に対し、機体構造、電気系統、エンジン、油圧機構等の点検をし、安全性が確認されたとして同年 12 月 19 日から飛行訓練を再開したが、確認結果の詳細な説明がされておらず、市民の不安は依然として払拭されていない。</p>		
関係法令			